

さっぽろパペットシアタープロジェクト「北のおばけ箱」を終えて

札幌市こどもの劇場やまびこ座 館長 矢吹 英孝



(撮影:渡辺遼司)

♪つづきがあったらまた来てね～
北のおばけ箱～♪

賑やかな楽しい音楽にのせて、小学生から大学生まで大勢の子どもたちが唄い踊り、観に来ていただいた方々からの温かい拍手の中で成功裏に幕を閉じた「北のおばけ箱」。やまびこ座の「パペットユーススクール」「遊劇舎」の子どもたちが人形や仮面を遣い、所狭しと舞台を駆けまわりました。

去る2月19日、20日に札幌市こどもの劇場やまびこ座で開催されたさっぽろパペットシアタープロジェクト「北のおばけ箱」は、まん延防止等重点措置が敷かれる中での実施となりました。特にこの時期は、第6波のピーク時でもあり、非常に緊張感を持っての作業、稽古、本番でもありました。しかしながら、蓋を開ければ、出演予定であった子どもたち数名は学級閉鎖などで残念ながら出演を見合わせることはなりましたが、総勢24名の子どもたちが出演、そして観客数が2日間で

193名(※現在、やまびこ座では感染対策のため50%の観客制限を行っている)とほぼ満席状態の中で上演できたことは、このコロナ禍で快挙に近いものと思います。子どもたち一人一人が感染対策の意識を持って臨んでくれたことを本当に誇らしく思います。

この作品は、知里真志保さん編訳の「アイヌ民譚集」から、北海道演劇財団の斎藤歩さんがとっても愉快でバカバカしいお話に仕上げてくださいました。このお話には、いろんなキャラクターが登場します。真面目な人や欲張りな人、素直な人や実直な人、優しいおばけや変なおばけ、怒ってるのか泣いてるのか、はたまた喜んでるのか、一体何を考えてるのかよくわからない個性あるおばけたち…みんな、どこか憎めない人間味あふれるキャラクターばかりです。そんな全く違った彼らがお互いを認め合い、助け合い、結局最後には笑い合える、そんな素晴らしい世界がこの作品には詰まってい

ました。これからの未来、このような時代が当たり前になってほしいと切に願っています。もう一つ、今回の取り組みの中で特筆すべきことは、児童デイサービス「ペンギアート」の発達障害の子どもたちと一緒にワークショップを重ね、仮面や舞台美術作品を作りあげたことです。子どもたちの自由な、とことん自由な発想の中で想像をさらに膨らませ、それを形にしていく作業は、私にとってとても貴重な心温まる時間となりました。

今回の主役は間違いなく「子どもたち」です。いろんな子どもたちや大人気ない大人たちが寄ってたかって創りあげた「北のおばけ箱」。観ていただいたお客さまからはとても元気ももらったと言ってもらえました。共生社会や多様性が見直される時代、このお話はまさに今の時代を生きる全ての皆さんに「共に笑顔で生きていこう」というメッセージをいまの子どもたちから届けることができたと思っています。まだまだ、未来は明るい！そんなことを感じさせてくれた夢の2日間でした。

あらためて北海道演劇財団さん、マレウレウのマユンキキさん、札幌座やペンギアートの皆さん、関わっていただいたスタッフ、そして何より足を運んでくださったお客様、全ての皆様に感謝いたします。

まだ興奮冷めやらぬ公演後まもない日、歩さんから電話がきました。「北のおばけ箱2」をつくらないか？幸せな時間はまだ続きそうです。

さあ、ニュースと外へ
出かけましょう。

「どうしん電子版」で朝刊・夕刊紙面がそのまま読めます
北海道新聞を月ぎめ購読されている個人の方なら、会員登録するだけで利用できます。追加料金はかかりません。

外出中も
スマホで
読める

家族も
読める

文字を
大きくして
読める

すべての
地域面が
読める

手続きは簡単！今すぐ登録！

「どうしん電子版」会員登録はインターネットから！
<https://www.hokkaido-np.co.jp/>
※購読やコンテンツは予告なく変更されることがあります。

お問い合わせ
どうしん電子版サポートセンター

0120-889-104
10:00～18:00 土・日・祝日も受付

メール dd-support@hokkaido-np.co.jp

どうしん電子版は
購読料は
そのまま
使えます！

北海道新聞
どうしん電子版

「暴雪圏」を終えて

劇作家・俳優／ホエイ・劇団野の上 山田 百次

2018年の初演に引き続き、2022年「暴雪圏」再演にも出演させていただきました。

2月中旬に札幌入りしたのですが、今年の雪の量にはとにかく驚きました。

初演の時、生まれて初めて冬の札幌に滞在しました。その時の印象は、寒さは厳しいが雪はそれほどでもなく過ごしやすいといった感じでした。今年もそんな感じだろうと思って来たのですが、その予想はあっさりと覆されました。なんでも札幌では観測史上最大の降雪量を記録したそうで、確かに雪の量がすごかった。道路脇には見たこともないほどの雪山が延々と積まれていました。

そんな中でも稽古場のシアターZOOでは連日熱い稽古が行われていました。こんなに雪が降っても決して負けることのない道産子の底力のようなものを感じました。

佐々木譲さん原作の「暴雪圏」。時に恐ろしいほどの牙をむく北海道の天候と、人間の弱さを描いた重厚な群像劇。この小説を齋藤歩さんはジャジーな音楽にのせ小気味よい場面転換で進み、時にはユーモラスに描くことで軽やかな作品に仕上げました。初演のシアターZOOでは大量の雪が圧倒的な迫力でしたが、今回のクリエイティブスタジオではパワーアップした雪の量ももちろんのこと。劇場が大きくなったことで観客がそれぞれの登場人物を俯瞰して見られるようになりました。なのでより群像劇としての構造が際立ったように思います。また再演を重ねることによって、それぞれの登場人物の深みが増したように思います。

一つの演劇作品において再演を重ねるといのはとても重要なことであると再認識しました。

こうした作品を作り続けることももちろんですが、たびたび札幌に来て感銘を受けるのは、演劇が札幌市民に定着していることだと思います。

稽古の合間にやまびこ座の人形劇を見てきました。

アイヌの民話をモチーフにした作品はとても楽しく、子供も大人も楽しめる内容でした。札幌には人形劇団が多数存在しているというのも驚きです。小さいころから舞台に慣れ親しむことができる環境というのは本当に羨ましい限りです。

そして演劇シーズンが今年で10周年と聞いて驚きました。規模の大きい演劇祭を夏と冬の年二回というハイペースで10年続けてきているのは本当に凄いことだと思います。しかもコロナ禍の中でも止めることなく続けていること、本当に凄いです。雪にも負けずコロナにも決して負けない道産子の底力は、途轍もないものなんだと感じました。もちろんここまで続けてこれたのは関係者ならびに各団体の感染症対策への細心の注意と努力があるからこそ続けてこれたことだと思います。

齋藤歩さんが本番終了後の舞台挨拶でよく演劇は生活のインフラだと仰っていたんですが、札幌の演劇人はそれを体現し、観客にもそれが浸透しているんだなと感心いたしました。日本全国どこを見てもこんなに演劇に熱心な街は他にないと思います。

唯一無二な演劇都市札幌、これからも突き進んでほしいと思います。



(撮影:高橋克己)



HTB

online

オンライン

劇場

北海道のエンタメ文化を応援!

おうちの中でイベントやライブの感動を味わうことができます。HTB創世スクエアスタジオから、ローカル局らしいイベントを配信します。

6 コミュニティ、チカラ

HTB

演劇

LIVE

クラシック

落語

趣味

etc....

HTBオンライン劇場

@htb_on_theater #HTBオンライン劇場

「生」で顔を合わせる時間の必要性

劇団清水企画／北海道演劇財団 理事 清水 友陽

下半期は、文化庁の「文化芸術による子供の育成総合事業」に採択された、4つの学校でコミュニケーションワークショップを実施しました。

北星女子中学校は、毎年学校祭で全学年で演劇作品を創作することが恒例行事となっています。1年生は何もわからぬまま創作をし、先輩たちの作品を見ることで意欲を高め、自然と他者と協力することを学び、身につけて行くのです。9月に開催される予定だった学校祭でしたが、コロナのため11月へ延期になりました。夏休みが明けてからも在宅学習が続き、例年よりも準備期間が少ない中、生徒たちは短期集中で練習を行っていました。4年前に教員と講師で手探りで進めていたこの事業も、体制が整い、今では初回から生徒たちの質問が多く出るようになりました。質問の内容も演技のことだけでなく、スタッフワークのことから、空間の使い方など舞台演出に至るまで様々で、まさに協働しながら作品を完成させて行く過程を経験するためのプログラムとして定着しつつあります。



信濃小学校は、10月の頭に「このような状況下だが何とか学習発表会で6年生が演劇作品を上演したい」との相談があり急遽実施が決定しました。「総合的な学習」で1年を通して働くことについての「やりがい」や「社会貢献」という視点を持って調べたり表現したりする活動を通じて、将来の夢や希望を膨らませる学習に取り組んでいて、その一環として学習発表会を行っていました。初回はインタビューから始まりました。「演出家チーム」「俳優チーム」に分かれ、

担当講師が普段の仕事内容について話をしました。子どもたちは、目を輝かせながら質問してくれました。信濃小学校は、教員が指示を出すのではなく、時間がかかっても自分たちで考え、話し合い、やってみるというサイクルを授業の中に取り入れていて、そのチームワークは見事でした。「感染症対策を行いながらどのように学習発表会で演劇を上演することができるか?」という答えのない問いに「動く人と喋る人を分ける」というひとつの方法を生み出し、見事に観客を楽しませていました。



苗穂小学校は3・4・5年生に指導を行いました。今年度はどの学年も器楽や体操を発表することになり、それをどのように見せ物として構成するかを一緒に考えました。立ち位置や体の向きを変えるだけで見え方が違うことを、観客役になり客観的に体験してもらい、どうすれば見応えがあるか、意見を交換しながら作り上げて行きました。



立命館慶祥中学校は、コロナに加えて大雪が影響し、生徒がなかなか学校に通えない状況で、それでも何とかして実施したいと日程調整していただき、予定していた全てのプログラムを実施できました。今回、どうしても1日だけ対面の開催ができず、初めてオンラインでのワークショップを行いました。30数名の生徒と、画面を通じてシアターゲームを行いました。普段は、生徒全員の声聞くことは難しいのですが、オンライン開催ということで、マスクを外した顔を見ながら、ひとりひとりの声を聞くことができました。今後ニーズが生じるかも知れない新しいワークショップの展開について、考察しなければならぬ課題であると感じました。

デジタル化やグローバル化が急激に変化する社会において、これからの社会に求められる資質能力も変化しています。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視して授業を組み立てることが求められています。ワークショップのあり方も、今後少しずつ変化して行くことでしょう。しかし、リモート学習では体験できない人と人が「生」で顔を突き合わせて対話する時間を作り出して行くことは、ますます必要になるのではないのでしょうか。

小さなことから……。

岩本・佐藤法律事務所

弁護士 岩本 勝彦 弁護士 佐藤 昭彦
 弁護士 上木 健司 弁護士 甲斐 寛之

〒060-0042 札幌市中央区大通西9丁目キタコーセンタービルディング6階
 電話：011-281-3001 FAX：011-281-4139

旅の終わりは札幌でした。

「渡辺源四郎商店」店主 畑澤 聖悟

「背中から四十分」は2004年に書いた芝居である。札幌座によるシアターZOO企画公演となった今回は4回目の再演である。舞台を青森県の西海岸（日本海沿い）から北海道のどこかに変更しよう、ということを決めていた。「オロロン街道沿いがいいんじゃない?」と提案したのは2019年版でも主演を務めて頂いた斎藤歩氏である。舞台は増毛町（の架空の温泉場）と決まった。同町は実にネタの宝庫で、特に増毛山道が面白い。この地域の歴史そのものを刻んだような道である。唯一の懸念は、「このへん、そんなに寺ないねえ」であった。「背中から四十分」には津軽三十三観音霊場を巡るエピソードが登場する。これは「曽根崎心中」の冒頭に登場する大坂三十三所観音巡りを引用しており、死出の旅路を暗示する重要なシーンなので外せない。どうしようかとネットを探っている

と、近隣の石狩市に「千本ナラ」と呼ばれる樹齢800年（推定）の大木があり、多くの枝が空に向かって伸びている姿から千手観音の化身とされているという。これだ。千本の手で人間を救済する千手観音は、手で癒やしの施術を行うマッサージ師の象徴としてもってこいである。

かくして「背中から四十分」は「道北オロロン街道編」というサブタイトルで上演された。元から北海道を舞台に書き下ろしていたような気がしてならない。この感触は千秋楽になっても続いた。物語の舞台となった増毛町周辺が偶然とは思えないほどアイテムが揃いすぎていただけではない。青森県の公立高校教員である私が冬休みの間、短期集中の札幌滞在で演出として参加できるようお膳立てしてくれた札幌座、素晴らしいスタッフとキャストの面々など、ありえないほどの幸運に恵

まれたおかげである。「背中から四十分」の旅の終点はここであった。誕生から18年かけて、ようやく札幌で完成したのだ。劇場に足を運んでくれたお客様を含めた関係各位、そして、北海道そのものに深く頭を下げる。またいつか、この札幌の地で、「道北オロロン街道編」を再演することが出来れば、これに勝る喜びはないのだが。



稽古中の畑澤聖悟(左)と斎藤歩(右) (撮影:高橋克己)

まさに、胡蝶の夢…現実なのか、幻か…「こちょうのゆめ、みたいな」を終えて。 イレブンナイン代表/北海道演劇財団 理事 納谷 真大

2020年に最初のオーディションをやり、稽古を始めて、未知の感染症だったコロナによって観客を招いての公演を断念して、ドラマツルグである歩さんの発案で、誰に観せるでもないZOOM公演のために創作をしました。それはそれで、8人の中高生たちにとって、とても意義のある創作だったはずで。そして、2021年、コロナへの対応を学習した我々は、リベンジ公演をやろうと新たなメンバーを加えた9人の中高生たちと稽古を始めました、が、2022年の年明けに、変異するコロナの憎っきオミクロンによって、公演を延期するしかありませんでした。

正直、私は今回も断念するしかないのか?とおもっておりました。しかし、歩さんは何とかして公演を実現すべきだ、と、上演したら1時間半はかかったであろう私の台本を50分ちよつとにリライトしてくださり、しかも、より面白

くしてくださり、とにかく、短期間の稽古で中高生たちが最大のパフォーマンスを発揮できるよう、計らってくれました。劇中の歌も、何度もつくり直してくれて、本番では照明のオペレーターまでやってくれました。それでも、ギリギリまで二転三転して、本当に本番を迎えるまで、どうなるかわからない状態でしたが、何とか3ステージを無事に終えることが出来ました。中高

生の彼らにとっても、今のこんな時代だからこそ経験出来る、夢のような、それでいてとても生々しい、貴重な創作体験になったと思っています。私自身にとっても、中高生たち以上に、意味のある創作となったことは言うまでもありません。こういう機会を与えていただけてホンマに幸せでした、ありがとうございました!!



(上) キャスト、スタッフで何度も行ったリモートでの打ち合わせと稽古
(左) 公演終了後の集合写真 (撮影:イレブンナイン)

2021年10月1日～2022年3月31日

演劇の企画・製作活動

〈演劇公演〉

- All Sapporo Professional Actors Selection vol.3「暴雪圏」
(脚本・演出:斎藤歩)
10月9日(水)～17日(木)(13回)
[札幌市民交流プラザ・クリエイティブスタジオ]

〈ワークショップ〉

- 文化芸術による子供育成総合事業
[コミュニケーション能力向上事業(NPO法人等提案型)](文化庁)
10月12日(火)、11月2日(火)、8日(月)(3回)
[札幌市立信濃小学校]
講師:清水友陽、納谷真大、磯貝圭子、前田透
- 文化芸術による子供育成総合事業
[コミュニケーション能力向上事業(学校申請方式)](文化庁)
10月13日(水)～2月26日(土)(12回)
[立命館慶祥中学校高等学校]
講師:清水友陽、納谷真大、磯貝圭子、西田薫、前田透ほか
- 文化芸術による子供育成総合事業
[芸術家の派遣事業](文化庁)
10月7日(木)、11日(月)、14日(木)(3回)
[洞爺湖町立とうや小学校]
講師:清水友陽、磯貝圭子、熊木志保
※新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で中止
- 北星女子中学校 ワークショップ
10月18日(月)、27日(水)、11月1日(月)(3回)
[北星学園女子中学校高等学校]
講師:清水友陽、磯貝圭子、西田薫、竹原圭一
- 苗穂小学校 ワークショップ
11月1日(月)、9日(火)、12日(金)(3回)
[札幌市立苗穂小学校]
講師:清水友陽、西田薫、熊木志保
- 紋別市社会福祉協議会(職員研修、住民福祉大会)
12月3日(金)～4日(土)
[紋別市社会福祉協議会]
講師:斎藤歩、熊木志保、常本亜実

劇場運営活動

〈シアターZOO企画・提携公演〉

- Milky Way Project朗読「銀河鉄道の夜」(東京・小樽)(企画)
(原作:宮沢賢治 演出:鶴山仁(文学座))
10月9日(土)～10日(日)(3回公演)
- micelle[SAPPORO DANCE BOAT PROJECT 2021]
(東京・京都)(提携)
[しよく。Act2](作:micelle 演出:櫻井ヒロ)
「FLOOD」(演出:Monochrome Circus)
10月16日(土)～17日(日)(4回公演)
- 万博設計×劇団清水企画SCRAMBLE EXPO 2021「ぱびりおんさん」
(大阪・札幌)(提携)
(作:佃典彦(劇団B級遊撃隊) 演出:橋本匡市、清水友陽)
10月22日(金)～24日(日)(4回公演)
- 高校演劇解放区(企画)
11月予定
※新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で中止
- 劇団清水企画「だれば箱づめの亡者」(札幌)(提携)
(作・演出:清水友陽)
12月10日(金)～12日(日)(5回公演)
- 札幌座「背中から四十分 北海道・オロロン街道編」(札幌・青森)(企画)
(作・演出:畑澤聖悟(渡辺源四郎商店))
1月7日(金)～12日(水)(7回公演)
- シアターZOOダンスクリエーション「DANCE (R) BECOMING」
(札幌・東京)
(振付・出演:山田せつ子、大森弥子ほか 音楽:嗟嗟治彦)
2月4日(金)～6日(日)(3回公演)
※新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で中止
- 弦巻楽団「舞台に立つ ペリクリーズ」(札幌)(提携)
(作:ウィリアム・シェイクスピア 演出:弦巻啓太)
3月26日(土)～27日(日)(4回公演)
- 札幌座&イレブンナイン「こちようのゆめ、みたいな」(札幌)(企画)
(作・演出:納谷真大(イレブンナイン) ドラマトゥルグ:斎藤歩(札幌座))
3月29日(火)～30日(水)(3回公演)

〈シアターZOO一般貸出〉

6団体 33日間

『演劇支援自動販売機』にご協力を!

2011年から北海道キリンパレッジ株式会社様と連携し、「演劇支援自動販売機」による演劇支援を行っています。自動販売機を気軽に利用して頂くことで、北海道・札幌の演劇を応援! 売り上げの一部が当財団の演劇振興事業推進に使われています。現在、シアターZOO入口ほか、市内7か所に設置されています。

〈設置協力社一覧〉

- ・愛犬美容看護専門学校
- ・アクトコール株式会社
- ・キャトレール中島公園
- ・北海道文化放送株式会社
- ・株式会社ノヴェロ
- ・社団法人李仁会 心臓血管センター
北海道大野病院
- ・北海道テレビ放送株式会社 (敬称略)



朝の免疫ケア、はじめる。KIRIN

新発売!

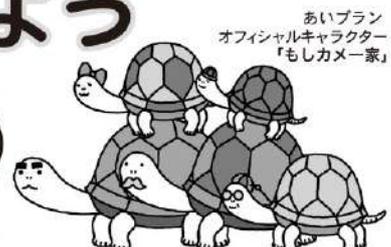
機能性表示食品
北海道キリンパレッジ株式会社 IMUSE-P.jp のんだあとほりサイクル

もしものために積み立てよう

結婚式や葬儀など、人生の節目に訪れる大切なセレモニーをあいプランの互助会システムがしっかりサポート。
月々のわずかな積み立てで大きな安心を。
(月々 **2,000円** × 90回 | 総額 **180,000円**)
※施行時に別途消費税相当額をお預かりいたします。

あいプランシステムに関するお問い合わせ・ご相談窓口

0120-335-924



公益財団法人北海道演劇財団に ご支援をお願いします。

北海道演劇財団は、日本でも前例のない演劇に特化した財団法人として、演劇により北海道の文化芸術を活発にし、道内各地で上質な舞台芸術に触れる機会を飛躍的に増やしてまいりました。

今後もこれまでの活動に加え、未来を担う子供たちに、表現・創造・出会いの豊かさを伝える取り組みを積極的に展開し、社会から必要とされる演劇の役割とその魅力を増す努力を続けてまいります。演劇活動を取り巻く状況は必ずしもゆるやかではありません。なにとぞ皆様からのご支援をお願い申し上げます。



ご寄付によるご支援

ご寄付は、税制上の
優遇措置が受けられます。

法人および個人のご寄付の場合、優遇措置を受けるには確定申告の届け出と「寄付金受領書」（本財団発行）の添付が必要です。

ご寄付に関する内容および寄付金申請書のダウンロードは、ホームページをご覧ください。あるいは本財団までお問い合わせください。

<http://www.h-paf.ne.jp/support/>

QRコードからは
コチラ



オフィシャルパートナー

本財団は、ご寄付をいただくための
「オフィシャルパートナーシステム」を設けています。

特別支援団体 年額／1口 50万円以上

- 広報紙「H-PAF NEWS」に団体の広告を掲載させていただきます。
- シアターZOOロビー、広報紙、シアターZOO「STAGE NEWS」、ホームページ、札幌座公演チラシ・パンフレットで団体名をご紹介します。
- 札幌座札幌公演にご招待いたします。

協賛団体 年額／1口 5万円以上

- 広報紙「H-PAF NEWS」、ホームページで団体名をご紹介します。
- 札幌座札幌公演にご招待いたします。

後援会会員 年額／1口 3万円以上

- 広報紙「H-PAF NEWS」、ホームページで会員名をご紹介します。
- 本財団主催公演案内をご送付いたします。

ご寄付および「オフィシャルパートナーシステム」のお問い合わせ、お申し込みは下記までご連絡ください。

公益財団法人北海道演劇財団 TEL.011-520-0710 E-MAIL office@h-paf.ne.jp

〒064-0811 札幌市中央区南11条西1丁目ファミリー中島公園1F FAX.011-520-0712

NPO 法人 札幌座くらぶ 会員募集中!

札幌座くらぶは、観劇し続けることで楽しみながら演劇を応援する団体です。札幌座の他、シアターZOOのラインナップなど、厳選した作品をお楽しみ頂けるほか、サロンの会など俳優・演出家たちとの交流イベントも盛りだくさんです。

年会費／一般：14,000円／学生：10,000円／高校生以下：7,000円
お申込み・お問い合わせ TEL:011-522-6222 Mail:club@h-paf.ne.jp

特別支援団体

- | | | |
|---------------|-----------|-------------|
| 岩本・佐藤法律事務所 | (株)北洋銀行 | 北海道テレビ放送(株) |
| ホクレン農業協同組合連合会 | (株)北海道新聞社 | (株)あいプラン |

協賛団体

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------------|
| 岩田地崎建設(株) | 山藤三陽印刷(株) | フルテック(株) |
| 柿崎歯科 | 酒林坊 | (株)ほくていホールディングス |
| (株)エヌケイウォッシュ | 創価学会 | 北海道キリンビバレッジ(株) |
| (株)クリエイティブオフィスキュー | (株)創文 | (株)トップシーン札幌 |
| 札幌観光(株) | (株)ダブルス | 中西印刷(株) |

後援会会員

- | | | |
|-----------------------|------------------------|------------|
| (株)アイフードコーポレーションTAMIS | (株)サン設計事務所 | (株)富士メガネ |
| 秋山不動産(有) | スタジオコパン | 北海道ガス(株) |
| アクトコール(株) | (株)ステージアンサンプル | 北海道文化放送(株) |
| HTB映像(株) | セイコーマートながい | 北海道放送(株) |
| (株)HTBプロモーション | (株)テレビ北海道 | |
| NPO法人音更町文化事業協会 | (株)東翔 | |
| (特非)札幌座くらぶ | (株)ネオインターナショナル(Smooth) | |
| 札幌テレビ放送(株) | (株)ノックアウト | |



HOKUREN Seeds PROJECT

「Seeds」は、「支援」「教育」「環境」「開発」の4つの領域の解決にそれぞれの活動分野を連携する英語の英文で学ぶ。活動のターゲットが広く、みんなの笑顔を生かせる「Seeds」であってほしいという願いを込めています。

笑顔の種が、芽を息吹く。

ホクレン女子陸上競技部の選手が全国各地の小学校を年5〜7回訪問し、走る楽しさを伝えています。

ホクレン女子陸上競技部 **みんなで走ろう! 陸上教室** ホクレン

ホクレン女子陸上競技部は北海道唯一の実業団陸上競技部。1987年の創部以来、北海道の皆さまの応援を受けて国内外のさまざまな大会に挑戦しています。また、各種ランニングイベントなどを開催しています。

北の大地に歴史を刻んで。世界へ、明日へ、ホクレン女子陸上競技部。さまざまなジャンルの大会やチームに協賛

<p>■ ホクレン・ディススタンスチャレンジ</p> <p>夏に全道各地で開催し、国内の有力選手が熱い戦いを繰り広げるトラック中距離競技大会に協賛しています。</p>	<p>■ 少年野球大会</p> <p>全道各地から参加していくる北海道少年軟式野球選手権大会をサポートしています。</p>	<p>■ 少年剣道大会</p> <p>子どもたちの心身の健やかな成長を願い、ホクレン旗を提供するなど大会に協力しています。</p>	<p>■ ホクレンファイターズ「北海道農業プロジェクト」</p> <p>日本ハムファイターズとの共同で日本の食を支える北海道農業を応援するプロジェクトに取り組んでいます。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

ホクレンは「HOKUREN Seeds PROJECT」として社会貢献活動に取り組んでいます。

<p>Support 支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童福祉施設への北海道米の寄贈 ○ホクレンSS「ラブ&ハート」チャリティーキャンペーンなど 	<p>Education 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホクレン女子陸上競技部による小学校陸上教室 ○パールライス工場見学 ○食のセミナーの開催 ○北海道の演劇活動に協賛など 	<p>Ecology 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○てん菜の3R (リデュース、リユース、リサイクル) など 	<p>Development 開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パールライスファン感謝祭の開催と石狩市への寄付 ○北海道日本ハムファイターズのスポンサー ○ホクレン女子陸上競技部の活動 ○札幌文芸家連合会の協賛など 	<p>Social subjects 社会的課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移動販売車「寄り添み号」による買い物支援と見守りサービス等の地域貢献活動など
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

いつでも、どこでも、あなたのそばに。



北洋銀行
www.hokuyobank.co.jp

